

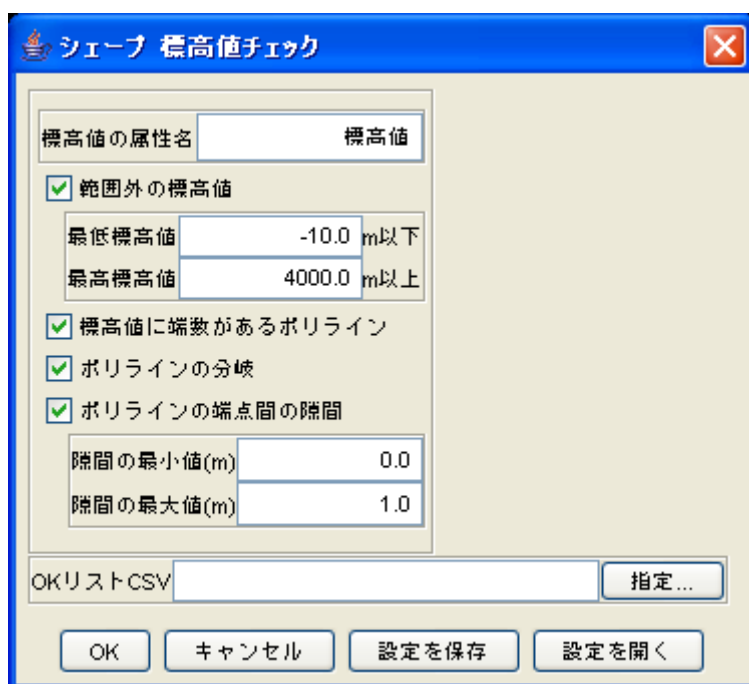
基盤地図情報作成検査ツール バージョン 1.28 更新記録

2009/05/25
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. シェープ 標高値チェック

新メニュー[チェック]-[シェープ 標高値チェック]を追加しました。以下、説明書からの抜粋です。

等高線と標高点のシェープファイルについて、属性「標高値」の値を標高値として検査します。



標高値の属性名

シェープファイルでの標高値のフィールド名を指定します。指定された属性名があるシェープデータがチェックの対象です。

範囲外の標高値

ポリラインとポイントのシェープファイルについて、標高値が指定された範囲外のレコードをリストアップします。

標高値に端数があるポリライン

ポリラインのシェープファイルについて、標高値に小数点以下の端数があるレコードをリストアップします。等高線を想定しています。

ポリラインの分岐

標高値別にポリラインのネットワークを作成し、分岐があればリストアップします。等高線の分岐の検出を想定しています。標高値は 1m 間隔です。

ポリラインの端点間の隙間

ポリラインのネットワークを作成し、ネットワークの端点と端点間の距離について、指定された範囲にあるものをリストアップします。等高線の隙間の検出を想定しています。

2. チェックリスト1

[チェックリスト 1]パネルで、上下矢印キーで選択項目が上下するようにしました。但し、マウスポインタが[チェックリスト 1]パネル内にある場合にキー入力の有効です。

3. 基盤地図情報DEM変換を廃止

メニュー[基盤地図情報 DEM 変換]を廃止しました。

フリーソフト「基盤地図情報メッシュ変換」へ移行します。

<http://www.vector.co.jp/soft/winnt/business/se475709.html>